

TOSHIBA

東芝デジタル複合機

e-BRIDGE Plus for WebDAV

取扱説明書

- このたびは弊社製品をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。
- お使いになる前に取扱説明書をよくお読みください。お読みになった後は必ず保管してください。

©2019 - 2023 Toshiba Tec Corporation All rights reserved

本書は、著作権法により保護されており、東芝テック株式会社の承諾がない場合、本書のいかなる部分もその複写、複製を禁じます。

はじめに

このたびは弊社製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

本書は、WebDAVサーバーと連携し、e-BRIDGE Plus for WebDAVをインストールした複合機から原稿を印刷、スキャンする方法について説明します。お使いになる前に本書をよくお読みください。

■ 本書の読みかた

□ 本文中の記号について

本書では、重要事項には以下の記号を付けて説明しています。これらの内容については必ずお読みください。

 警告	「誤った取り扱いをすると人が死亡する、または重傷 ^{*1} を負う可能性があること」を示しています。
 注意	「誤った取り扱いをすると人が傷害 ^{*2} を負う可能性、または物的損害 ^{*3} のみが発生する可能性があること」を示しています。
注意	操作するうえでご注意いただきたい事柄を示しています。
補足	操作の参考となる事柄や、知っておいていただきたいことを示しています。
	関連事項を説明している参照先を示しています。必要に応じて参照してください。

*1 重傷とは、失明やけが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものを指します。

*2 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電を指します。

*3 物的損害とは、財産・資材の破損にかかる拡大損害を指します。

□ 本書の対象読者について

本書は一般使用者（ユーザー）および機器管理者向けの取扱説明書です。

□ 本文中の画面について

お使いの機種やオプション機器の装着状況、インストールしているアプリケーションによっては、表示される画面が異なることがあります。

□ 本文中の記載名称について

本書では、両面同時原稿送り装置と自動両面原稿送り装置を、どちらも「自動原稿送り装置」と記述して説明しています。

□ 商標について

本書に掲載されている会社名、製品名は、それぞれの会社の商標または登録商標である場合があります。

1

e-BRIDGE Plus for WebDAVを使用する

e-BRIDGE Plus for WebDAVのセットアップと使い方を説明します。

このアプリケーションについて	6
管理者への説明	6
ユーザーへの説明	7
このアプリケーションを使用できるように準備する	8
このアプリケーションをインストールする	8
このアプリケーションの起動認証を設定する	9
WebDAVサーバーを登録する	10
操作パネルの【ホーム】画面にこのアプリケーションを登録する	12
操作パネルからこのアプリケーションを使用する	14
WebDAVサーバーにアクセスする	14
フォルダーを作成する	15
画面に表示するファイルを絞り込む	16
ファイルを印刷する	17
原稿をスキャンする	22
アプリケーションを終了する	28
困ったときは	29

このアプリケーションについて

e-BRIDGE Plus for WebDAV（本書では以降「このアプリケーション」と称します）は、弊社のデジタル複合機（本書では「本機」と称します）にインストールして利用するアプリケーションです。本機の操作パネルからこのアプリケーションを起動してWebDAVサーバーにあるファイルを印刷したり、原稿をスキャンしてWebDAVサーバーに保存することができます。

注 意

このアプリケーションを使ってWebDAVサーバーに保管されたお客様のデータや資産、WebDAVサーバーおよびお客様の環境は、自己責任において適切な運用を行い保護してください。

■ 管理者への説明

管理者は、以下の項目を確認してからこのアプリケーションをセットアップしてください。準備やセットアップはTopAccessを使用します。設定画面の詳しい操作方法は、[TopAccessガイド](#) / [TopAccess](#)を参照してください。

□ チェックポイント

管理者は以下の点を確認してください。

- このアプリケーションをご利用いただける複合機については、サービスエンジニアにお問い合わせください。
- スキャンした文字を認識するには、本機にOCRオプション（ライセンス）がインストールされている必要があります。
- 本機の時計を正しい時刻に設定する必要があります。時刻が正しくないと証明書の検証に失敗してネットワークに接続できない場合があります。
- WebDAVサーバーがセットアップされており、本機がそのサーバーにアクセスできるネットワークに接続されている必要があります。また、WebDAVサーバーに接続する際は以下のユーザー認証方式をサポートしています。
 - [Digest] 認証
 - [Basic] 認証
- ネットワーク上の通信を保護したい場合は、HTTPS通信をお使いください。
- ユーザー認証または部門認証が必要な場合は、TopAccessで設定する必要があります。
- ユーザーには [印刷機能] や [スキャン機能] を利用できる権限のあるロールをTopAccessから割り当てる必要があります（制限を設けていない限り、ユーザーは通常これらの権限を有します）。
- このアプリケーションは、WebDAVサーバーへの接続時に、TopAccessのプロキシ設定に入力したアカウントIDとパスワードを使用します。

□ セットアップ

ユーザーがこのアプリケーションを本機で利用できるように、管理者はTopAccessを使ってあらかじめ準備する必要があります。本書は以下のセットアップ手順を説明します。管理者は以下の各説明を順にお読みいただき、このアプリケーションをセットアップしてください。

1. このアプリケーションを本機にインストールします。
 図 P.8 「このアプリケーションをインストールする」
2. このアプリケーションの起動時に、認証するかどうかを設定します。
 図 P.9 「このアプリケーションの起動認証を設定する」
3. ユーザーがアクセスするWebDAVサーバーを登録します。最大10か所まで登録できます。
 図 P.10 「WebDAVサーバーを登録する」
4. ユーザーが操作パネルからWebDAVサーバーにアクセスできるように、[ホーム] 画面にこのアプリケーションを登録します。
 図 P.12 「操作パネルの [ホーム] 画面にこのアプリケーションを登録する」

管理者もユーザーとしてファイルを印刷したり、原稿をスキャンすることができます。次のユーザー向け操作手順もお読みください。

■ ユーザーへの説明

このアプリケーションを使用するには、以下を参照してください。

- 本機の操作パネルからWebDAVサーバーを選択してログインする方法は、本書の以下を参照してください。
□ P.14 「WebDAVサーバーにアクセスする」
- ファイルの印刷方法や原稿のスキャン方法は、本書の以下を参照してください。
□ P.15 「フォルダーを作成する」
□ P.16 「画面に表示するファイルを絞り込む」
□ P.17 「ファイルを印刷する」
□ P.22 「原稿をスキャンする」
- トラブルが発生した場合は、本書の以下を参照してください。
□ P.29 「困ったときは」

このアプリケーションを使用できるように準備する

管理者は、以下の手順に従ってこのアプリケーションをセットアップしてください。

■ このアプリケーションをインストールする

本機のTopAccessからこのアプリケーションをインストールします。

注 意

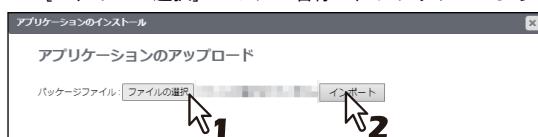
アプリケーションをインストールするには、管理者権限でTopAccessにログインする必要があります。TopAccessの操作方法については、TopAccessガイド/TopAccessを参照してください。

- 1 TopAccessを起動して、管理者としてログインします。
- 2 [管理者] > [アプリケーション] > [アプリケーションリスト] をクリックして [アプリケーションリスト] を開き、[インストール] をクリックします。



- 3 [ファイルの選択*] をクリックしてe-BRIDGE Plus for WebDAVのインストールファイルを選択し、[インポート] をクリックしたら画面の指示に従ってインストールします。

* [ファイルの選択] のボタン名称は、ブラウザによって異なります。



補 足

[アプリケーションリスト] に登録したこのアプリケーションに対して、以下のボタンを操作できます。

- ・[アンインストール] を選択すると、このアプリケーションを本機から削除できます。
- ・[詳細] を選択すると、このアプリケーションの詳細情報を確認できます。

■ このアプリケーションの起動認証を設定する

このアプリケーションの起動時に認証するかどうかを、本機のTopAccessから設定します。

注 意

認証を設定するには、管理者権限でTopAccessにログインする必要があります。TopAccessの操作方法については、TopAccessガイド/ TopAccessを参照してください。

1 TopAccessを起動して、管理者としてログインします。

2 [管理者] > [アプリケーション] > [アプリケーションリスト] をクリックして [アプリケーションリスト] を開き、[e-BRIDGE Plus for WebDAV] の [詳細] をクリックします。



3 [認証] から [有効] または [無効] を選択します。

- **有効**：操作パネルの [ホーム] 画面からこのアプリケーションを起動するたびに、部門またはユーザー認証が必要です。
- **無効**：[部門管理設定] や [ユーザー認証設定] の [プリント] や [スキャン] が有効な場合は、このアプリケーションから印刷またはスキャン操作を実行する際に認証が必要です。各機能の認証が無効に設定されている場合は、認証は必要ありません。



注 意

各機能の認証設定方法については、TopAccessガイド/ TopAccessを参照してください。

4 [保存] をクリックします。

[キャンセル] をクリックすると、設定を変更しないで [アプリケーション詳細] 画面を閉じます。

■ WebDAVサーバーを登録する

管理者は、ユーザーが使用するWebDAVサーバーを最大10か所までこのアプリケーションに登録できます。

注 意

WebDAVサーバーを登録するには、管理者権限でTopAccessにログインする必要があります。TopAccessの操作方法については、[TopAccessガイド](#) / [TopAccess](#)を参照してください。

- 1 TopAccessを起動して、管理者としてログインします。
- 2 [管理者] > [アプリケーション] > [アプリケーションリスト] をクリックして [アプリケーションリスト] を開き、[e-BRIDGE Plus for WebDAV] をクリックします。



- 3 WebDAVサーバーに接続するためにプロキシサーバーを使用する場合は [プロキシを利用する] をクリックします。

- MFP設定：本機で設定したプロキシ設定（TopAccess - [管理者] - [アプリケーション] - [アプリケーション設定] - [プロキシ設定]）を使用する場合に選択します。本機でプロキシサーバーが設定されていない場合は、このアプリケーションはプロキシサーバーを使用しないでWebDAVサーバーに接続します。
- アプリケーション設定：このアプリケーションでプロキシサーバーを設定する場合に選択し、以下の形式でプロキシサーバー（最大256文字）を入力します。
ホスト名[:ポート番号]



補 足

プロキシサーバーを使用しないでWebDAVサーバーに接続する場合は、[プロキシを利用しない] をクリックします。

- 4 [保存] をクリックします。
[キャンセル] をクリックすると、設定を変更しないで元の設定に戻します。
- 5 WebDAVサーバーを登録したい番号の (設定) をクリックします。

- 最大10か所のWebDAVサーバーを登録できます。
- (設定) をクリックすると、WebDAVサーバーの新規登録または設定を変更できます。
- (削除) をクリックすると、登録したWebDAVサーバーを削除できます。確認メッセージが表示されたら、[OK] をクリックして削除を実行するか、[キャンセル] をクリックして操作をやめます。

サーバー設定			
No.	サーバー名	ネットワークパス	アクション
1	server	[REDACTED]	
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

6 [WebDAVサーバー] 画面で、WebDAVサーバーの登録に必要な機能を設定します。

- サーバー名：操作パネルのサーバーリスト画面に表示するWebDAVサーバー名（最大15文字）を入力します。
- ネットワークパス：WebDAVサーバーのアドレス（最大256文字）を入力します。ネットワークパスは、URL形式の文字列を入力してください。
- ログインユーザー名：WebDAVサーバーにアクセスするユーザー名（最大32文字）を入力します。以下の文字は入力できません。
", : ; < >
- パスワード：WebDAVサーバーにログインするユーザーのパスワード（最大32文字）を入力します。入力した文字は伏せ字で表示されます。
- プロキシ設定：手順3で設定したプロキシサーバーを使用するかしないかを選択します。
- 接続テスト：[実行] をクリックすると、指定したWebDAVサーバーに接続できるかテストします。接続失敗のメッセージが表示されたら、[ネットワークパス]、[ログインユーザー名]、[パスワード]、[プロキシ設定] を確認して正しい設定を入力しなおします。ログインユーザー名は、ISO-8859-1*に準じた文字を入力してください。それ以外の文字で入力した場合は、接続に失敗します。
* 西欧系の言語に対応している文字コード
- 利用可能な機能：WebDAVサーバーで使用できる機能（スキャン&プリント、スキャン、プリント）を選択します。

e-BRIDGE Plus for WebDAV

サーバー設定
サーバーリスト

保存 キャンセル

WebDAV サーバー

サーバー名	server
ネットワークパス	[REDACTED]
ログインユーザー名	[REDACTED]
パスワード	[REDACTED]
プロキシ設定	<input checked="" type="radio"/> プロキシを利用する MFP設定が適用されます。 <input type="radio"/> プロキシを利用しない
接続テスト	実行
利用可能な機能	スキャン&プリント

7 [保存] をクリックします。

[キャンセル] をクリックすると、設定を変更しないで [プロキシ設定] / [サーバー設定] 画面に戻ります。

注意

設定に問題がある場合はメッセージが表示されます。設定を訂正してから再度 [保存] をクリックしてください。

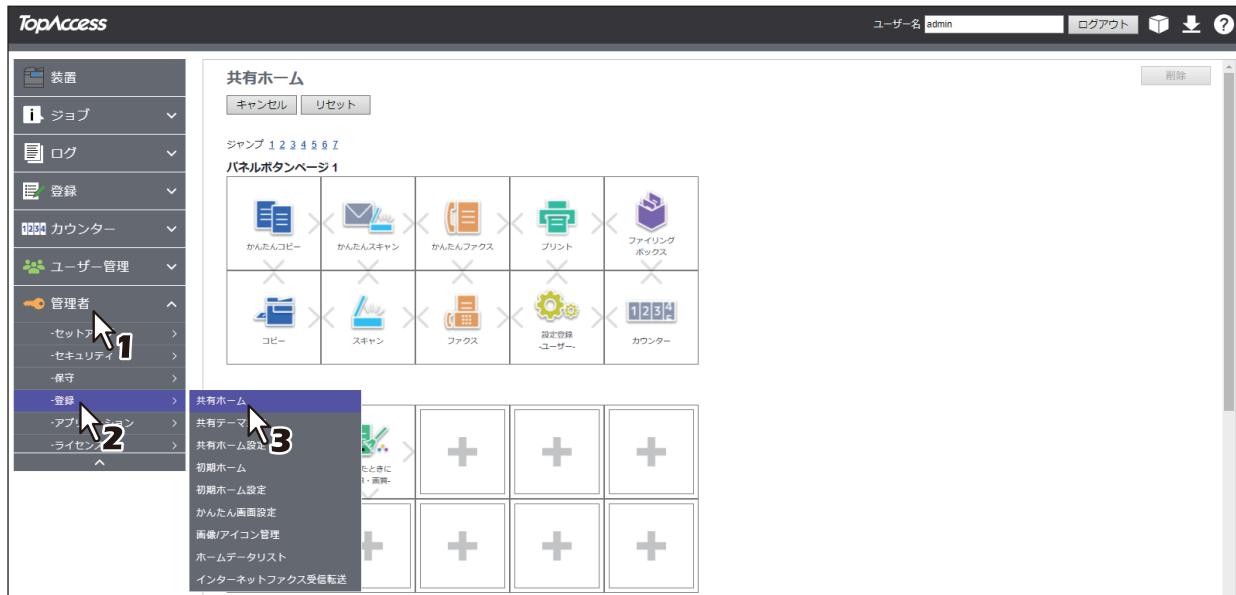
■ 操作パネルの【ホーム】画面にこのアプリケーションを登録する

操作パネルの【ホーム】画面からWebDAVサーバーにアクセスできるように、本機のTopAccessまたは操作パネルからこのアプリケーションを登録してください。本書では、TopAccessからの登録方法を説明します。詳しくは、TopAccessガイド/TopAccessを参照してください。操作パネルのホーム画面設定ボタンからこのアプリケーションを登録するには、かんたん操作ガイド/基本操作を参照してください。

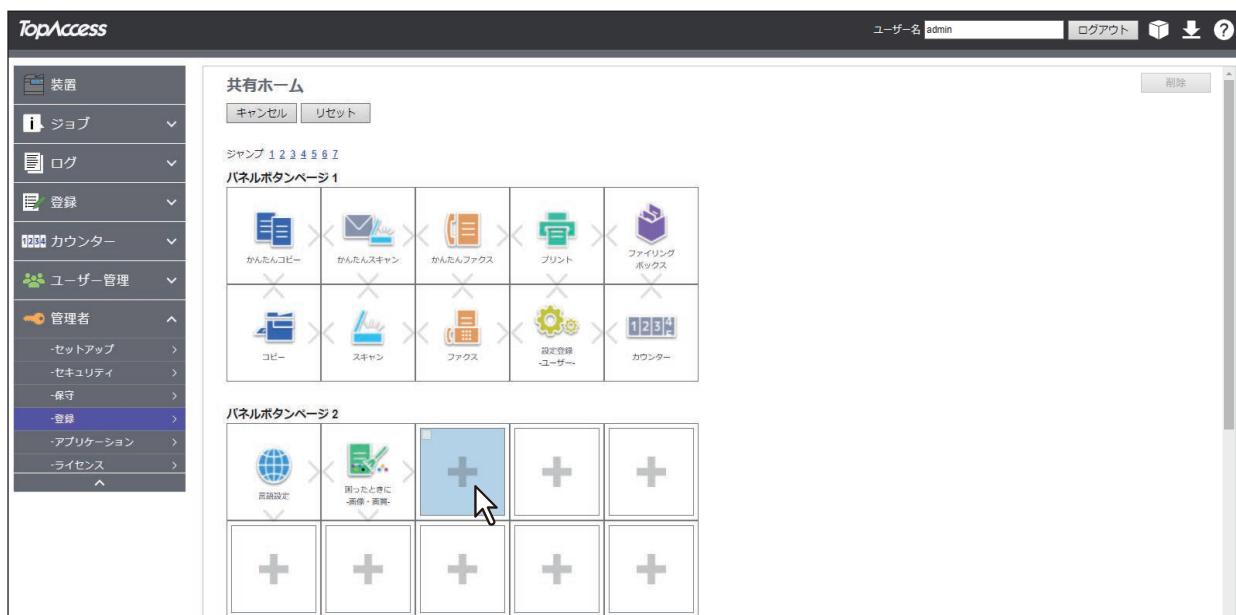
注 意

TopAccessの【登録】メニューにアクセスするには、管理者権限でログインする必要があります。TopAccessの操作方法については、TopAccessガイド/TopAccessを参照してください。

- 1 TopAccessを起動して、管理者としてログインします。
- 2 【管理者】 > 【登録】 > 【共有ホーム】 をクリックします。



- 3 このアプリケーションを登録したいパネルボタン位置まで移動して、リンクをクリックします。
[ジャンプ] の番号をクリックすると、その位置を含むリストへ直接移動します。



4 [ホームタイプ選択] 画面から [アプリケーションリストから登録] をクリックします。

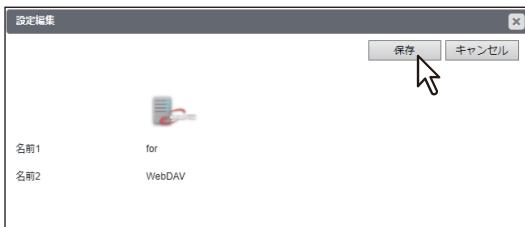


5 [アプリケーションリストから登録] 画面から [e-BRIDGE Plus for WebDAV] をクリックします。



6 [設定編集] 画面で [保存] をクリックします。

[キャンセル] をクリックすると、登録せずに [設定編集] 画面を閉じます。



操作パネルからこのアプリケーションを使用する

本機の操作パネルから、登録されているWebDAVサーバーを選択してアクセスできます。

■ WebDAVサーバーにアクセスする

操作パネルの【ホーム】画面に登録したこのアプリケーションからWebDAVサーバーを選択してアクセスできます。

1 操作パネルの  ([ホーム] ボタン) を押します。

2 このアプリケーションのアイコンを探して押します。



3 【部門コード】または【ユーザー認証】画面が表示される場合は、部門コードまたはユーザー名・パスワードを入力して [OK] を押してログインします。

TopAccessやこのアプリケーションで認証を必要としない設定にされている場合は、認証画面は表示されません。そのまま次へ進みます。

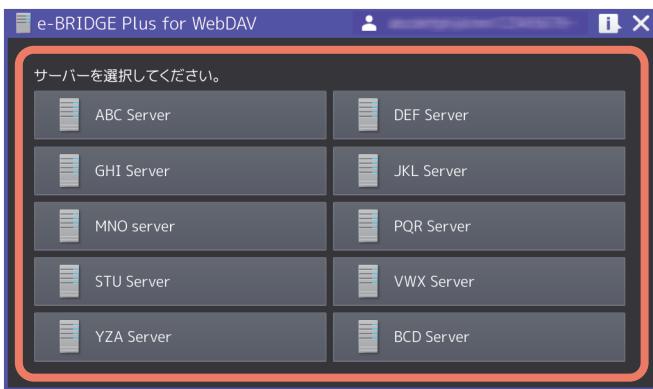
注意

TopAccessやこのアプリケーションの認証設定によって、認証画面が表示されるタイミングが異なります。このアプリケーションの起動後、印刷やスキャンする際に認証を求められる場合があります。詳しくは、管理者にお尋ねください。

4 使用するWebDAVサーバーをサーバー選択画面で選択します。

- 管理者がこのアプリケーションで登録したWebDAVサーバーの中から1つ選択できます。
 P.10 「WebDAVサーバーを登録する」
- ユーザー認証が有効な場合は、画面右上にユーザー名が表示されます。
- WebDAVサーバーを利用するには以下のいずれかへ進みます。
 P.15 「フォルダーを作成する」
 P.16 「画面に表示するファイルを絞り込む」
 P.17 「ファイルを印刷する」

□ P.22 「原稿をスキャンする」



■ フォルダーを作成する

WebDAVサーバー内にフォルダーを作成できます。

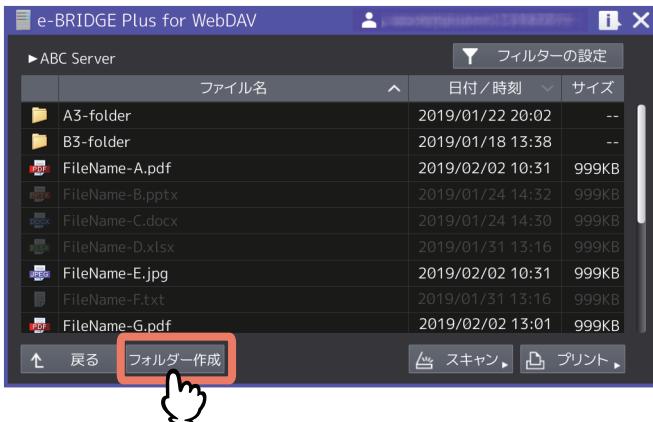
- 1 操作パネルからこのアプリケーションを起動して、サーバー選択画面でWebDAVサーバーを選択します。

[□ P.14 「WebDAVサーバーにアクセスする」](#)

- 2 必要に応じてファイルリスト画面上のフォルダーを開きます。

- 現在選択しているWebDAVサーバー名と開いているフォルダーのパスを、画面左上に表示します（パスが長い場合は省略されます）。
- [戻る] を押すと、1つ上のフォルダーに戻ります。ルートフォルダーを表示中に [戻る] を押すと、サーバー選択画面に戻ります。

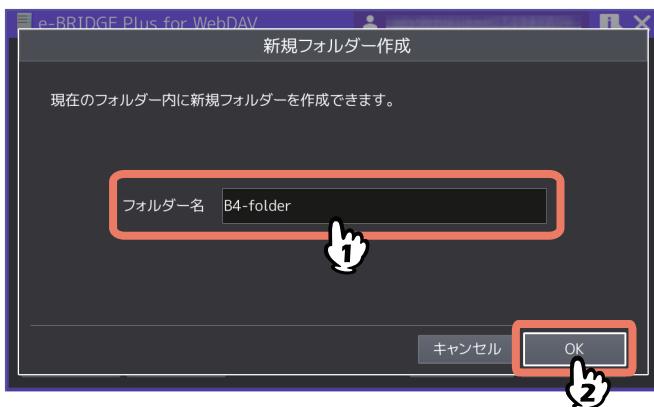
- 3 [フォルダー作成] を押します。



- 4 フォルダ名を入力して、[OK] を押します。

- 入力欄を押すとキーボードが表示されます。以下の文字を除き最大128文字まで入力できます。
\\ : * " ? < > |

- ・[キャンセル] を押すと、フォルダーの作成を中止してファイルリスト画面に戻ります。



- 5 作成したフォルダーが表示されていることを確認します。

■ 画面に表示するファイルを絞り込む

WebDAVサーバーに保存されているすべてのフォルダーとファイルをファイルリスト画面に表示することができます。また、このアプリケーションで対応できるファイルフォーマットだけをファイルリスト画面に表示します。

補足

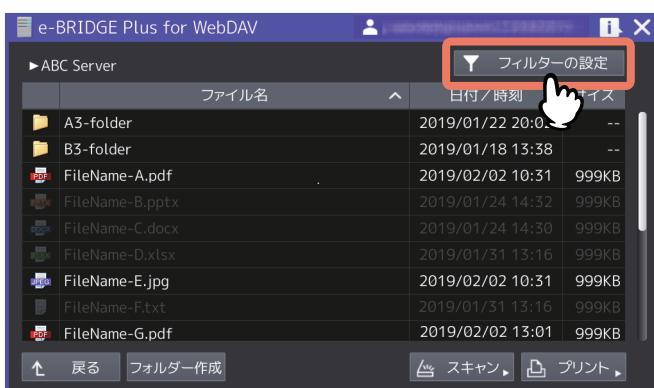
このアプリケーションにWebDAVサーバーを登録してください。

□ P.10 「WebDAVサーバーを登録する」

- 1 操作パネルからこのアプリケーションを起動して、サーバー選択画面でWebDAVサーバーを選択します。

□ P.14 「WebDAVサーバーにアクセスする」

- 2 [フィルターの設定] を押します。



- 3 [使用可能なファイルのみ表示] または [全てのファイルを表示] を選択して、[OK] を押します。

注意

このアプリケーションの起動時は、[使用可能なファイルのみ表示] に設定されています。[全てのファイルを表示] に設定した場合でも、このアプリケーションを終了すると [使用可能なファイルのみ表示] にリセットされます。

- 使用可能なファイルのみ表示：このアプリケーションで対応できる以下のフォーマットのファイルだけをファイルリスト画面に表示します。
 - プリント可能ファイル：
JPEG、PDF
 - スキャン可能ファイル：
JPEG、PDF、TIFF
DOCX、PPTX、XLSX（OCRオプション装着時のみ）
 - ファイルサイズ：
最大 64 MByte
- 全てのファイルを表示：WebDAVサーバーに保存されているすべてのファイルをファイルリスト画面に表示します。
- [キャンセル] を押すと、設定変更を中止して画面を閉じます。



■ ファイルを印刷する

WebDAVサーバーに保存してあるJPEG、PDFファイルを本機にダウンロードして印刷することができます。

注 意

選択したWebDAVサーバーで印刷が許可されている場合のみ、ファイルを印刷できます。設定が分からぬ場合は、管理者にお尋ねください。

P.10 「WebDAVサーバーを登録する」

補 足

ファイルサイズは64MBまでダウンロードできます。

□ 印刷手順

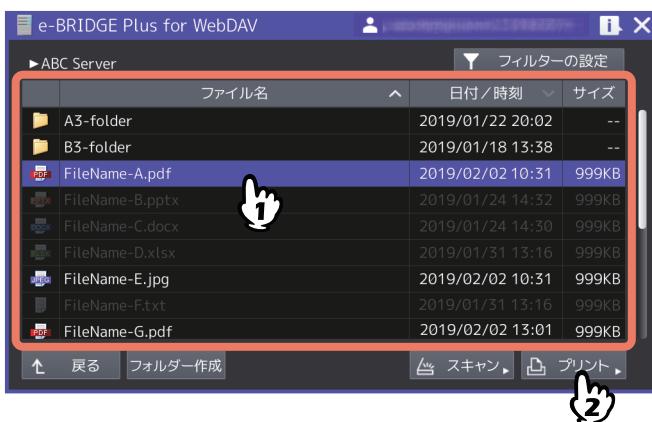
- 1 操作パネルからこのアプリケーションを起動して、サーバー選択画面でWebDAVサーバーを選択します。
 P.14 「WebDAVサーバーにアクセスする」
- 2 必要に応じて、フォルダーを選択して開きます。
開いたフォルダーに保存してあるファイルを印刷できます。
 P.15 「フォルダーを作成する」

補 足

ファイルが多い場合は、[フィルターの設定] 画面で [使用可能なファイルのみ表示] を選択してください。ファイルの選択が簡単になります。

P.16 「画面に表示するファイルを絞り込む」

3 印刷するファイルを押して、[プリント] を押します。
グレーアウトで表示されているファイルは、印刷できません。



4 印刷設定を選択して、[スタート]（または操作パネルの [スタート] ボタン）を押します。

- 画面と印刷設定の詳細については、以下を参照してください。
[P.20 「\[印刷設定\] 画面」](#)
- [キャンセル] を押すと、印刷操作を中止します。
- [リセット]（または操作パネルの [リセット] ボタン）を押すと、変更した設定が本機に設定されている初期値に戻ります。



5 [ダウンロード中] 画面が表示されます。
ダウンロードが完了すると自動的に本機が印刷を開始し、ファイルリスト画面に戻ります。

- [ジョブ削除] を押すとファイルのダウンロードを中止して [印刷設定] 画面に戻ります。

注意

- 操作パネルの  ([ホーム] ボタン) 押すと [ホーム] 画面に戻りますが、ファイルのダウンロードは中止されません。
- セキュア（暗号化）PDFのダウンロード中は、操作パネルの  ([ホーム] ボタン) 押すとファイルのダウンロードを中止します。



選択したファイルがセキュア（暗号化）PDFの場合

自動的に [セキュアPDFプリント] 画面が表示されます。パスワードを入力して [OK] を押します。

- [パスワード] の入力欄を押すとキーボードが表示されます。パスワードは32桁まで入力できます。
- [キャンセル] を押すと、印刷を中止して [印刷設定] 画面に戻ります。



□ [印刷設定] 画面

このアプリケーションの [印刷設定] 画面は、以下の設定を選択することができます。



ファイル名

選択したファイル名を表示します。
この画面で選択や変更はできません。

日付／時刻

選択したファイルの作成日時を表示します。
この画面で選択や変更はできません。

サイズ

選択したファイルのサイズを表示します。
この画面で選択や変更はできません。

部数

印刷部数（1～999）を設定します。入力欄を押すと、キーボードが表示されます。

カラーモード/トナーモード

- 印刷カラー（自動カラー選択、フルカラー、白黒）を選択します。
- Loops LP35/LP45/LP50をご使用の場合は、トナーモード（白黒、ブルー）を選択します。

補足

ユーザー認証が有効で、ユーザーにカラー印刷の権限が割り当てられていない場合は設定できません。

両面

両面印刷（片面、両面（左/右とじ）、両面（上/下とじ））を選択します。

ホチキス

ホチキス留め（なし、左上、右上）を選択します。

パンチ

パンチ穴（なし、左中央、上中央）を選択します。

用紙サイズ

[>] を押すと [用紙サイズ設定] 画面が開きます。以下の設定を選択して [OK] を押します。[キャンセル] を押すと、変更した設定を破棄します。

注意

[用紙サイズ設定] 画面に表示する用紙サイズは、お使いの機種により異なります。使用できる用紙サイズについては、**仕様ガイド/本機の仕様**を参照してください。

- 原稿サイズを優先する
PDFに埋め込まれた原稿サイズ（用紙サイズ）で印刷する場合は、[ON] を選択します。
- サイズ
[原稿サイズを優先する] を [OFF] に設定した場合に、原稿サイズ（用紙サイズ）を選択します。
- サイズオプション
[原稿サイズを優先する] を [OFF] に設定した場合に、選択します。
 - [フィット] を選択すると、原稿サイズを選択した用紙サイズに合わせて拡大または縮小して印刷します。
 - [大きいサイズを縮小] を選択すると、原稿サイズが選択している用紙サイズより大きい場合は縮小して印刷します。原稿サイズが選択している用紙サイズと同じか小さい場合は、拡大せずに印刷します。

PDFファイル印刷時の画面

[サイズ] に表示する用紙サイズは、お使いの機種により異なります。



JPEGファイル印刷時の画面

[サイズ] に表示する用紙サイズは、お使いの機種により異なります。



注意

- PDFファイルを印刷する場合に [原稿サイズを優先する] と [サイズオプション] が表示されます。
- JPEGファイルを印刷する場合に [原稿サイズを優先する] の [ON] と [OFF] は選択できません。また、[サイズオプション] は表示されません。

■ 原稿をスキャンする

原稿をスキャンして、WebDAVサーバーにアップロードして保存することができます。

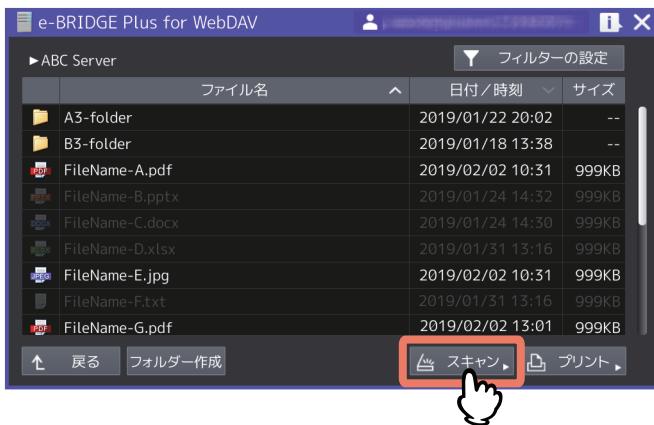
注 意

選択したWebDAVサーバーでスキャンが許可されている場合のみ、ファイルをスキャンして保存できます。設定が分からぬ場合は、管理者にお尋ねください。

P.10 「WebDAVサーバーを登録する」

□ スキャン手順

- 1 操作パネルからこのアプリケーションを起動して、サーバー選択画面でWebDAVサーバーを選択します。
 P.14 「WebDAVサーバーにアクセスする」
- 2 必要に応じてフォルダーを選択して開きます。
開いたフォルダーに、スキャンしたファイルを保存できます。
 P.15 「フォルダーを作成する」
- 3 原稿を原稿ガラスまたは自動原稿送り装置にセットします。
原稿のセットのしかたについては、用紙準備ガイド/用紙の準備を参照してください。
- 4 [スキャン] を押します。



- 5 スキャン設定を選択して、[スタート]（または操作パネルの [スタート] ボタン）を押します。

注 意

- ・[ファイル名] に入力されていないとスキャンできません。
- ・画面とスキャン設定の詳細については、以下を参照してください。
 P.24 「[スキャン設定] 画面」

- ・[キャンセル] を押すと、スキャンを中止します。
- ・[リセット]（または操作パネルの[リセット]ボタン）を押すと、変更した設定が本機に設定されている初期値に戻ります。



6 スキャンが終了するまで待ちます。

- ・原稿ガラスに原稿をセットした場合
 - 続けて複数ページを原稿ガラスでスキャンするには、手順7へ進みます。
 - 1ページだけスキャンして終了するには、手順9へ進みます。
- ・自動原稿送り装置に原稿をセットした場合
 - [プレビュー] を [ON] にしている場合は、手順7へ進みます。
 - [プレビュー] を [OFF] にしている場合に、続けて別の原稿を自動原稿送り装置にセットしてスキャンする場合は、スキャン中に [継続] を押して手順7へ進みます。

補足

自動原稿送り装置を使用中にスキャン操作を中止したい場合は、[ストップ] を押します。

7 次ページを原稿ガラスまたは自動原稿送り装置にセットしたら、[スタート]（または操作パネルの[スタート]ボタン）を押します。

- ・[プレビュー] を [ON] にしている場合は、スキャンしたページのプレビュー画面を表示します。
- ・[ジョブ削除] を押すと、スキャン操作を中止してジョブを削除できます。確認画面が表示されたら、[はい] を押してジョブを削除するか、[いいえ] を押してジョブ削除操作を中止します。



8 最後のページをスキャンし終えるまで、上記手順6と7を繰り返します。

9 スキャンが終了したら [読み込み終了] を押します。

- [プレビュー] を [ON] にしている場合は、スキャンしたページのプレビュー画面を表示します。
- ・[<] または [>] を押すと、プレビューページが切り替わります。

- ・ プレビューページを押すと、そのページが拡大表示されます。[ページ削除] を押すと、そのページを削除します。確認画面が表示されたら、[はい] を押してページを削除するか、[いいえ] を押して削除操作を中止します。拡大を終了するには、その拡大プレビューページを再度押します。
- ・ [ジョブ削除] を押すと、プレビュー表示しているジョブを削除します。確認画面が表示されたら、[はい] を押してジョブを削除するか、[いいえ] を押して削除操作を中止します。
- ・ プレビューしているページを削除する場合は、[編集] を押して削除したいページの を押してください。ただし、 は、1ページだけプレビューされている場合は表示されません。
- ・ プレビューしているページのページ順序を変えたい場合は、[編集] を押して または を押してください。
- ・ PDFファイルをプレビューしている場合は、ページを回転させることができます。[編集] を押して、回転させたいページの を押してください。 を押すごとに時計回りに90度回転します。

10 後処理が終了するまで待ちます。

- ・ スキャンした原稿をファイルとして作成する処理が続きます。
- ・ 高圧縮のPDFファイル形式を選択した場合は、PDFの圧縮処理が続きます。
- ・ [白紙ページ除去] が [ON] で実際に除去できる白紙ページがある場合は、除去処理が続きます。
- ・ OCRで読み取るPDFファイル形式を選択した場合は、OCR処理が続きます。
- ・ 以下の条件でスキャンした場合は、処理を中止して [スキャン設定] 画面に戻ることができます。
 - ファイル形式が高圧縮PDFか、OCRライセンスが有効時に選択できる形式の場合に、[文書作成] 画面で [ジョブ削除] を押す。
 - ファイル形式にJPEGまたはTIFF（シングル）を選択して、複数ページをスキャンした場合に、[アップロード] 画面で [ジョブ削除] を押す。

P.25 「ファイル形式」

補足

[白紙ページ除去] を [ON] にしている場合は確認画面が表示されます。[OK] を押して画面を閉じるか、5秒後に自動的に画面が閉じるまで待ちます。

□ [スキャン設定] 画面

このアプリケーションの [スキャン設定] 画面では、以下の設定を選択できます。



補足

お使いの機種によっては、原稿ガラスでスキャンする場合の原稿サイズが表示されます。原稿サイズについては、[設定管理ガイド](#) / [設定/登録](#)を参照ください。

ファイル名

ファイル名を表示します。入力欄を押して、表示されるキーボードでファイル名を変更することができます。最大128文字まで入力できます (\:*:?"<>|を除く)。

注意

本機の設定によりスペースとファイル名末尾のピリオドは、アンダースコアに変換されます。

カラー モード

スキャンカラー（白黒、グレースケール、フルカラー、自動カラー選択）を選択します。

両面

両面スキャン（片面、両面（左/右とじ）、両面（上/下とじ））を選択します。

解像度

解像度（100、150、200、300、400、600dpi）を選択します。

原稿モード

原稿モード（文字、文字/写真、写真、ブルー原稿*）を選択します。

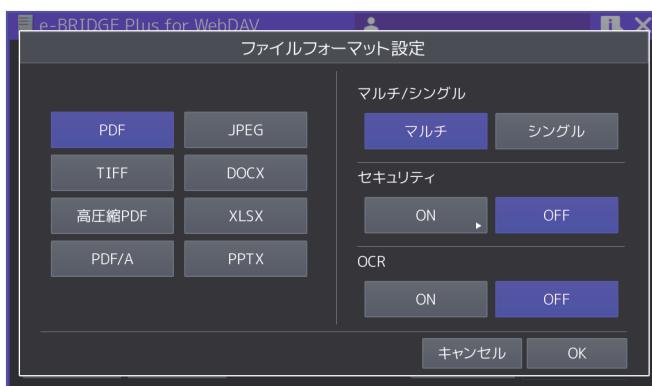
*Loops LP35/LP45/LP50をご使用の場合に選択できます。

画像回転

回転する角度（0、90、180、270）を選択します。

ファイル形式

[>] を押すと [ファイルフォーマット設定] 画面が開きます。以下の設定を変更して [OK] を押します。
[キャンセル] を押すと、設定変更を中止します。



- ファイル形式

ファイル形式（PDF、TIFF、高圧縮PDF、PDF/A、JPEG、DOCX、XLSX、PPTX）を選択します。

- マルチ/シングル

[マルチ] を選択すると、スキャンイメージを複数ページのファイルとして保存します。

[シングル] を選択すると、スキャンイメージを、1ページ1ファイルとして保存します。

ファイル形式で [DOCX]、[XLSX]、[PPTX] を選択した場合は [マルチ] のみ、[JPEG] を選択した場合は、[シングル] のみ選択できます。

- セキュリティ

ファイル形式で [PDF] を選択した場合、[ON] を選択すると、PDFを暗号化します。

[ON] を選択すると [パスワード入力] 画面が表示されます。

- OCR

[ON] を選択すると、文字をOCR機能で読み取ります。

ファイル形式で [DOCX]、[XLSX]、[PPTX] を選択した場合は [ON] に固定されます。

[TIFF]、[JPEG] を選択した場合は [OFF] に固定されます。

注意

文字をOCR機能で読み取るには、OCRオプションが必要です。OCRオプションについての説明は、スキャンガイド/スキャンを参照してください。

プレビュー

スキャンしたページをプレビューする場合は、[ON] を選択します。

電子署名

PDFファイルに電子署名を付加する場合は、[ON] を選択します。お使いの機種により、この機能は設定できません。

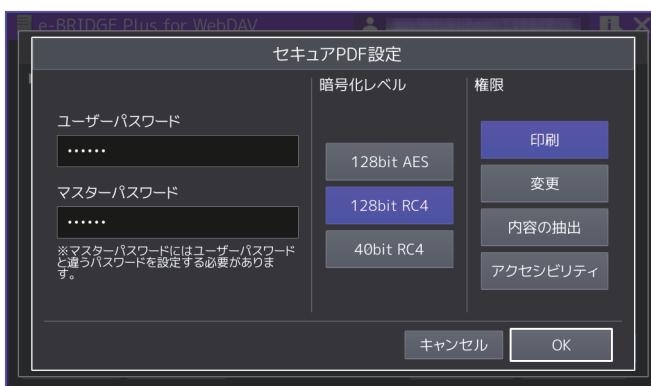
詳細

[詳細] を押すと、[詳細設定] 画面が開きます。以下の詳細設定を変更して [OK] を押します。[キャンセル] を押すと、設定変更を中止します。



セキュアPDF設定

[ファイルフォーマット設定] 画面で [セキュリティ] を [ON] にした場合は、[設定] を押して [セキュアPDF設定] 画面を開きます。暗号化の方法を設定して [OK] を押します。[キャンセル] を押すと、設定変更を中止します。



ユーザーパスワード

暗号化されたPDFを開くためのパスワードを入力します。入力欄を押すとキーボードが表示されます。32文字まで入力できます。

マスター パスワード

暗号化レベルや権限付与などの暗号化設定を変更するためのマスター パスワードを入力します。入力欄を押すとキーボードが表示されます。32文字まで入力できます。

注意

PDFを暗号化するには、[ユーザーパスワード] または [マスター パスワード] のどちらかを必ず設定してください。両方設定する場合は、異なるパスワードを設定してください。

- 暗号化レベル
暗号化レベルを選択します。
128bit AES - Acrobat 7.0, PDF V1.6に互換性のある暗号化レベルを設定します。
128bit RC4 - Acrobat 5.0, PDF V1.4に互換性のある暗号化レベルを設定します。
40bit RC4 - Acrobat 3.0, PDF V1.1に互換性のある暗号化レベルを設定します。
- 権限
PDFの操作権限を選択します。ボタンを押して青色になると、以下の操作が許可されます。ボタンを押して黒色になると、操作が制限されます。
印刷 - 暗号化PDFファイルの印刷
変更 - 暗号化PDFファイルの変更
内容の抽出 - 暗号化PDFファイルの内容をコピー、抽出
アクセシビリティ - アクセシビリティ機能の利用

注意

暗号化レベルで [40bit RC4] を選択した場合、[内容の抽出] と [アクセシビリティ] は、連動して設定されます。[内容の抽出] 操作を許可にすると [アクセシビリティ] 機能の利用も許可になり、[内容の抽出] 操作を制限すると [アクセシビリティ] 機能の利用も制限されます。[アクセシビリティ] 機能を操作した場合も同様に [内容の抽出] が連動して設定されます。

- 原稿サイズ
原稿と異なる用紙サイズでスキャンする場合に設定します。
[>] を押すと [原稿サイズ] 画面が開きます。以下の設定を変更して [OK] を押します。[キャンセル] を押すと、設定変更を中止します。



- 自動
原稿のサイズを自動的に検出します。
- サイズ混在
自動原稿送り装置にサイズの異なる原稿をセットする場合に選択します。
- 登録済みサイズ
特定の登録サイズで原稿をスキャンする場合に選択します。[登録済みサイズ] を押すと、使用可能なすべての登録済みカスタムサイズがボタンとして表示されます。
- 印刷領域自動切り出し
印字領域を自動検出して画像を切り出したい場合に設定します。白以外の色を自動で検出し画像を抜き出します。
- 拡張
[印刷領域自動切り出し] を選択している場合、検出した画像サイズの外周よりも指定する数値だけ大きく切り出す場合に設定します。最大30mmまで設定できます。
- 原稿サイズ自動検知
スキャンする原稿の用紙サイズで画像を切り出したい場合に設定します。原稿カバーまたは自動原稿送り装置を装着している場合のみ使用できます。
- 傾き補正
原稿送り装置に原稿をセットして搬送する際に生じた画像の傾きを補正できます。[登録済みサイズ]、[印刷領域自動切り出し] および [原稿サイズ自動検知] を選択した場合に設定できます。原稿を原稿ガラスに置いてスキャンする場合は、画像の傾き補正が [OFF] になります。

- 白紙ページ除去
保存するファイルからスキャンした白紙ページを除去する場合は、[ON] を選択します。
- OCR言語
[ファイル形式] で選択するOCR読み取りファイルフォーマットに対して、[OCR第1言語] と [OCR第2言語] を選択します。[>] を押すと [OCR言語] 画面が開きますので、以下の言語から選択して [OK] を押します。[キャンセル] を押すと、設定変更を中止します。
なし*、英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、イタリア語、デンマーク語、フィンランド語、ノルウェー語、スウェーデン語、オランダ語、ポーランド語、ロシア語、日本語、中国語（簡体字）、中国語（繁体字）、ポルトガル語（ブラジル）、ポルトガル語（ヨーロッパ）、トルコ語
* [なし] はOCR第2言語で選択できます。

注意

- [OCR言語] 画面に何も表示されない場合は、OCR読み取りファイルフォーマットに対応したファイル形式が選択されているか [ファイル形式] を確認してください。
- 文字をOCR機能で読み取るには、OCRオプションが必要です。OCRオプションについての説明は、[スキャンガイド/スキャン](#)を参照してください。

■ アプリケーションを終了する

操作パネルの  ([ホーム] ボタン) を押すか、サーバー選択画面またはファイルリスト画面で右上の [X] ボタンを押します。このアプリケーションが終了して [ホーム] 画面を表示します。

困ったときは

トラブルやエラーが発生すると、画面にメッセージが表示されます。また、TopAccessのアプリケーションログに操作状況が記録されます。困ったときは、メッセージやログを確認して、以下の説明を参考に問題を解消してください。ユーザーがトラブルの状況や対処方法が分からぬ場合は、管理者にご相談ください。

補足

TopAccessのアプリケーションログに、スキャン、OCR処理、印刷の実行状況が記録されます。

メッセージ	トラブルの状況と対処方法
WebDAVサーバーが登録されていません。 管理者にお問い合わせください。 アプリケーションは終了します。	このアプリケーションにWebDAVサーバーが正しく登録されていません（TopAccessのアプリケーションログにメッセージを記録します）。 [OK] を押すと [ホーム] 画面に戻ります。WebDAVサーバーの登録を管理者に依頼してください。
認証に失敗しました。管理者にお問い合わせください。	WebDAVサーバーへログインするためのログインユーザー名またはパスワードが正しくありません（TopAccessのアプリケーションログにメッセージを記録します）。 [OK] を押すとサーバー選択画面に戻ります。ログインユーザー名またはパスワードの訂正を管理者に依頼してください。
ネットワークエラーが発生しました。管理者にお問い合わせください。	WebDAVサーバーへアクセスするためのサーバーアドレスやプロキシ設定に間違いがあるか、LANケーブルの外れや接続遮断などのネットワークエラーが発生しているためWebDAVサーバーへ接続できません（TopAccessのアプリケーションログにメッセージを記録します）。 [OK] を押すとサーバー選択画面に戻ります。管理者にお問い合わせください。
WebDAVサーバーは応答しません。	WebDAVサーバーが稼働していません（TopAccessのアプリケーションログにメッセージを記録します）。 [OK] を押すとサーバー選択画面に戻ります。WebDAVサーバーの起動を管理者に依頼してください。
受信したセキュリティ証明書は信頼できません。	WebDAVサーバーから受信したセキュリティ証明書は信頼できません（TopAccessのアプリケーションログにメッセージを記録します）。 [OK] を押すとサーバー選択画面に戻ります。信頼できるセキュリティ証明書を取得いただくか、本機にサーバーのクライアント証明書をインストールすることを管理者に依頼してください。
外部カウンターは使用できません。管理者にお問い合わせください。アプリケーションは終了します。	コインコントローラー、カードコントローラーまたはキーカウンターなどが接続されています（TopAccessのアプリケーションログにメッセージを記録します）。 [OK] を押すと [ホーム] 画面に戻ります。管理者にお問い合わせください。

メッセージ	トラブルの状況と対処方法
フォルダーを作成できませんでした。	<ul style="list-style-type: none"> 書き込み権限がない： [OK] を押すとファイルリスト画面に戻ります（TopAccess のアプリケーションログにメッセージを記録します）。このアプリケーションを終了し、管理者に依頼してWebDAV サーバーへの書き込み権限を取得してください。このアプリケーションを再起動し、書き込み権限を保有した状態でサーバーにログインして新しいフォルダーを作成してください。 同じ名前のフォルダーがある： [OK] を押すとファイルリスト画面に戻ります（TopAccess のアプリケーションログにメッセージを記録します）。フォルダ名を変更するか、別のフォルダーへ移動してください。 開いているフォルダーがなくなった： [OK] を押すとサーバー選択画面に戻ります（TopAccess のアプリケーションログにメッセージを記録します）。作業中に開いていたフォルダーが削除されました。サーバー選択画面から再度同じサーバーを選択してファイルリスト画面が更新されたことを確認してください。 フォルダーのパス名が長すぎる： [OK] を押すと [フォルダー作成] 画面に戻ります（TopAccess のアプリケーションログにメッセージを記録します）。フォルダ名を短くするか、パスが短くなるように別のフォルダーに移動してください。
指定されたファイル・フォルダーが見つかりません。	WebDAVサーバー上にフォルダーまたはファイルがありません（TopAccessのアプリケーションログにメッセージを記録します）。 [OK] を押して、ファイルリスト画面に該当のフォルダーまたはファイルがあるか確認してください。
パスワードが異なります。	セキュアPDFを印刷する際に誤ったパスワードが入力されました（TopAccessのアプリケーションログにメッセージは記録されません）。 [OK] を押してメッセージ画面を閉じます。[セキュアPDFプリント] 画面に正しいパスワードを入力してください。
-	セキュアPDFが印刷されない [ダウンロード中] 画面の表示中に、操作パネルの [ホーム] ボタンが押されて [ホーム] 画面に戻りました（TopAccessのアプリケーションログにメッセージ「パスワード入力が行われなかったため、印刷がキャンセルされました。」を記録します）。 [ダウンロード中] 画面が閉じた後に表示する [セキュアPDFプリント] 画面でパスワードを入力して [OK] を押すと印刷を開始します。
パスワードポリシーに違反しています。 管理者にお問い合わせください。	セキュアPDFパスワード設定時に入力したパスワードは、本機に設定したパスワードポリシーに違反しています。または、TopAccessのパスワードポリシーで [文字列の制限] を [有効] に設定してある場合、セキュアPDFパスワードと同じ文字列が [スキャン設定] 画面のファイル名に入力されています（TopAccessのアプリケーションログにメッセージは記録されません）。 [OK] を押すと [スキャン設定] 画面に戻ります。パスワードポリシーについては管理者にお問い合わせいただき、有効なパスワードを入力してください。

メッセージ	トラブルの状況と対処方法
サーバーへのアップロード中に問題が発生しました。	<p>次の原因によりスキャンしたファイルをアップロードできません（TopAccessのアプリケーションログにメッセージを記録します）。</p> <ul style="list-style-type: none"> • WebDAVサーバー上の保存先フォルダーに書き込み権限がない。 • WebDAVサーバー上の保存先に同じファイル名がある。 • ファイル名が無効 • ファイルパスがサーバー上の上限値を超えてる。 <p>[OK] を押すとファイルリスト画面に戻ります。以下の対応をしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 管理者に依頼して当該フォルダーへの書き込み権限を取得してから原稿をスキャンしてください。 • 別のフォルダーへ保存してください。 • 有効なファイル名に変更してください。 • ファイルパスが短くなるようにファイル名を短くしてください。
現在、実行できません。	<p>本機で別の内部処理を実行しているか、カウンター情報が本機から収集されているため印刷やスキャンを実行できません（TopAccessのアプリケーションログにメッセージを記録します）。</p> <p>[OK] を押すとファイルリスト画面に戻ります。しばらく時間を空けてから印刷やスキャンを開始してください。</p>
ファイルサイズが大きすぎます。ページ数やスキャン設定を見直して再度スキャンしてください。	<p>スキャンしたファイルのサイズが64MBを超えています（TopAccessのアプリケーションログにメッセージを記録します）。</p> <p>[OK] を押すとスキャンジョブを削除して [スキャン設定] 画面に戻ります。一度にスキャンするページ数を減らしたり、[スキャン設定] 画面の設定を見直してからスキャンしてください。</p>
プリントの上限枚数に達しました。	<p>ユーザーが印刷できる割り当てがなくなりました（TopAccessのアプリケーションログにメッセージを記録します）。</p> <p>[OK] を押すとファイルリスト画面に戻ります。TopAccessで印刷の割り当て値を初期化するか、割り当て設定の変更を管理者に依頼してください。</p>
スキャンの上限枚数に達しました。	<p>ユーザーがスキャンできる割り当てがなくなりました（TopAccessのアプリケーションログにメッセージを記録します）。</p> <p>[OK] を押すとファイルリスト画面または [スキャン中] 画面に戻ります。[スキャン中] 画面に戻った場合は、スキャンジョブを削除するか読み込みを終了します。TopAccessでスキャンの割り当て値を初期化するか、割り当て設定の変更を管理者に依頼してください。</p>
プリントの実行権限がありません。	<p>印刷の実行権限がありません（TopAccessのアプリケーションログにメッセージを記録します）。</p> <p>[OK] を押すとファイルリスト画面に戻ります。TopAccessで印刷機能を [有効] にするか、印刷機能のロール割り当て設定を管理者に依頼してください。</p>
スキャンの実行権限がありません。	<p>スキャンの実行権限がありません（TopAccessのアプリケーションログにメッセージを記録します）。</p> <p>[OK] を押すとファイルリスト画面に戻ります。TopAccessでスキャン機能を [有効] にするか、スキャン機能のロール割り当て設定を管理者に依頼してください。</p>

メッセージ	トラブルの状況と対処方法
もう一度やり直してください。	スキャン開始直後に本機のカバーを開けられました（TopAccessのアプリケーションログにメッセージは記録されません）。 [OK] を押すと [スキャン設定] 画面に戻ります。本機のカバーを閉じてから [スタート] を押します。
もう一度やり直してください。	スキャンを開始して1枚目の原稿が自動原稿送り装置でつまりました（TopAccessのアプリケーションログにメッセージは記録されません）。 [OK] を押すと [スキャン設定] 画面に戻ります。2枚目以降がつまつた場合はこのメッセージを表示しないでスキャン操作が中断します。つまつた原稿を取り除いてセットしなおしてから [スキャン] を押します。
読み込み可能枚数を超えました。	1つのスキャンジョブでスキャンできる制限枚数（1,000枚）を超える（TopAccessのアプリケーションログにメッセージは記録されません）。 [OK] を押すと [スキャン中] 画面に戻ります。スキャンジョブを削除するか、読み込みを終了します。残りの原稿を別のスキャンジョブとしてスキャンするか、原稿枚数を分けて別々のジョブとして最初からスキャンしなおします。
この機能は使用できません。	TopAccessの [ローカルストレージデバイスへ保存] または [ローカルHDDへ保存] が [無効] に設定されているか、スキャン機能のライセンスが無効になっているため原稿をスキャンできません（TopAccessのアプリケーションログにメッセージを記録します）。 [OK] を押すとファイルリスト画面に戻ります。[ローカルストレージデバイスへ保存] または [ローカルHDDへ保存] を [有効] に設定するか、本機に有効なスキャン機能のライセンスが適用されているかを管理者に確認してください。
復旧処理中です...しばらくお待ちください。	エラーからの復旧中です。復旧が完了するまでお待ちください（復旧完了を知らせるメッセージをTopAccessのアプリケーションログに記録します）。 復旧処理が完了すると、このエラーメッセージ画面は自動的に閉じます。復旧中でもこのアプリケーションを終了して [ホーム] 画面に戻ることができます。
-	ファイルを保存する本機の内蔵ストレージに空き容量がありません。 管理者にご相談ください。
アプリケーションエラーが発生しました。 アプリケーションは終了します。	システムエラーが発生しました（TopAccessのアプリケーションログにメッセージを記録します）。[OK] を押して [ホーム] 画面に戻り本機を再起動してください。 再起動しても問題が解決できない場合は、管理者にご相談いただくか、サービスエンジニアまたは弊社販売店にお問い合わせください。

OMJ180087C0

東芝デジタル複合機
e-BRIDGE Plus for WebDAV 取扱説明書

東芝テック株式会社

